

令和7年度 千葉市生活支援コーディネーター

若葉区 第1層協議体

テーマ：地域で生きがいや役割を叶えたい～フレイル※高齢者の社会参加～

※フレイルとは、年齢を重ねて、体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態のこと

1 概要

日時：令和7年9月25日（木）
14時～
場所：若葉保健福祉センター

2 目的

（生きがいや役割を叶える社会参加の検討から）地域（資源）として高齢者の自立支援を手伝ってくれる仲間を増やしたい！



3 参加団体 計：20団体 31名

（地域密着型）通所介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護施設、高齢者施設、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所、都賀いきいきセンター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、生活自立・仕事相談センター若葉、若葉区 健康課、高齢障害支援課、あんしんケアセンター、社会福祉協議会若葉区事務所（社会福祉を学ぶ学生）、若葉区第1層・第2層生活支援コーディネーター、（第1層は区域、第2層はあんしんケアセンターと同じ圏域を担当）

4 協議体設置に至った経緯

【令和6年度の取組】

高齢者が主体的に活動出来る場（機会）の創出に取り組んだ事例を中心に共有し、地域連携による具体的な活動についてアイデアを出し合い、更なる連携・協働の拡充を図った。

【令和7年度の取組】

地域で暮らす高齢者の身近な相談窓口であるあんしんケアセンターへの相談内容に着目し、フレイル気味の高齢者も地域で活動的に過ごす為に必要な資源について、通所介護事業所等へ事前アンケートを実施し、ニーズの共有と可能な協力について情報収集を行った。

専門職である協議体構成員と共に、社会参加することでフレイル気味の高齢者が元気になっていく事例を参考に、やってみたいことや出来ることを考える機会として設置した。

5 内容

（※SCは生活支援コーディネーターの略称）

- ・ 地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業とSC※のこと
- ① 身近な地域で自分らしく活躍される方への支援のこと（支援施設から）
- ② フレイル気味の高齢者も活動に参加出来る移動支援のこと（支援施設から）
- ③ 事前アンケート結果の共有
- ④ 高齢者等支援機関と「やってみたいことや出来ること」について意見交換

①内容詳細

- 特技を活かした施設ボランティアや手作り小物を通じて活躍する人を応援

支援施設の意見

<施設の考え>

- ・ 地域に開かれた事業所づくりを目指す。
- ・ 誰かの為になるなら出来ることで協力したい。
- ・ 受け入れることが成功への一歩と思う。

<施設のメリット>

- ・ 利用者にとって地域の方との交流は新しい刺激。大きな喜びとなっている。

<施設と繋がった高齢者の変化>

- ・ ボランティアには利用者の「生活の質を高める」役割が生まれた。
- ・ 自信を取り戻すきっかけになった。

※ 必要とされる方と必要とする場が繋がることは、双方にとってメリットだと思う。



②内容詳細

- 外出の不安を和らげる移動支援

支援施設を繋いだSC情報

<背景>

- ・ 施設より地域貢献の希望があった。
- ・ 長く歩くことが難しくなっても活動に参加したい。

<方法>

- ・ デイサービス送迎車の空き時間を活用。
- ・ 運転手の協力も得られた。

<参加者の様子>

- ・ シルバーカー利用者も参加し屋外での活動を楽しむ。
- ・ 乗降の見守りはメンバー同士で行う。

<施設との交流>

- ・ 支援施設へ草取りや花壇の手入れの協力申し出や祭の手伝いもあった。

※ 移動支援も工夫によって可能と思う。



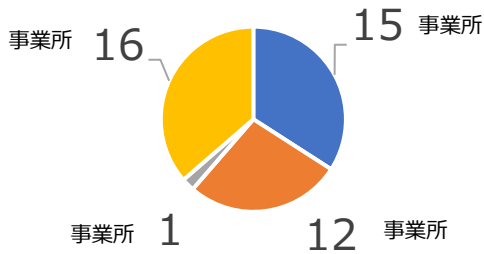
地域（資源）でフレイル高齢者を元気に！！

6 結果

③事前アンケート「フレイル高齢者あるある?！」結果 (一部) (区内42/67事業所 複数回答)

- 特技がある、作品もある…
披露出来て喜んでもらえたら嬉しいな

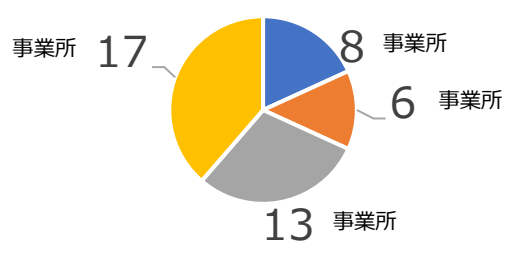
地域住民の趣味作品の展示は可能?



- 利用者作品と展示
- 展示コーナー設置
- 販売コーナー設置
- 難しい

- 長い距離は不安…
気軽にお出掛け出来たらな

地域住民がひと休みやトイレを借りられる?



- 屋外ベンチOK
- 交流スペースOK
- トイレ休憩ならOK
- 難しい

④地域の専門職が「やってみたいことや出来ること」の意見交換

●活躍の機会のアイデア

- ・一緒にお茶飲み&お喋り
- ・フロア飾り作りの補助
- ・庭や農園の水やり
- ・室内に花を生ける
- ・気兼ねなく頼れる人がいる
- ・子どもとの交流の場
- ・自分に自信が持てる
- ・移動式デイに参加貢献



●移動課題へのアイデア

- ・手紙の交流 (お届けお手伝い可能)
- ・気軽に立ち寄れる地域の事業所
- ・日差しを避けられる休憩場所
- ・ちょっと腰掛け可能なもの
- ・地域が顔見知りになる
- ・仲間と一緒にのお出掛け
- ・ボランティア時の送迎
- ・オンラインの活用



●その他出来るかも…

- ・デイサービスが休みの日に地域活動団体へ部屋を開放
- ・空いている公用車活用
- ・地域の方と一緒に楽しめる機会の提供



●終了後のアンケートから…

- ・介護サービス以外の検討に直ぐに活かせる内容だった。
- ・多職種が連携していることを知った。
- ・好きな事の可能性を感じた。



- フレイルや高齢者について良く知る専門職から意見をもらい、関係機関(者)として出来ること (や実現に向けた課題含む) を具体的に把握することが出来た。

7 今後に向けて

- 令和8年度は、支援機関への相談を中心に高齢者が地域(資源)で自分らしく活動する事例等を共有し、高齢者及び多様な主体との連携・協働による地域づくりを推進する。
 - フレイル高齢者や孤立する高齢者等の暮らしの問題について、個別相談から地域課題の把握に努める。
 - 把握した地域課題について、関係機関と共に不足する地域資源について検討を行い、生活支援・介護予防サービスの整備・開発に取り組む。
 - 高齢者の移動に関する情報(区内で実施中の移動支援を含む)を発信し、取組の推進を図る。
- (※地域資源とは、住民の暮らしを支えている、人、もの、団体・企業等の活動、情報のこと)

8 担当

若葉区 第1層生活支援コーディネーター
【TEL】043-233-8181
【所在地】〒264-8550 千葉市若葉区貝塚
2-19-1 若葉保健福祉センター内

千葉市生活支援コーディネーター



千葉市
ホームページ

